



プロサッカー選手による サッカースクール開催!!

6月9日(土)、伊里前小学校で日本プロサッカー選手会主催のサッカースクールが開催されました。現役で活躍中の佐藤寿人選手(サンフィレッチェ広島)、小泉慶選手(アルビレックス新潟)、西村弘司選手(名古屋グランパス)ら6名が駆け、伊里前小学校、小泉小学校のスポーツ少年団児童との試合が行われました。プロサッカーのレベルを体感しつつ、プロに負けじとボールに喰らいついていく子ども達。その勇気溢れるプレーはキラキラ輝いていました。



グランドデザイン報告会 を開催しました

5月26日(月)、ベイサイドアリーナ文化交流ホールでグランドデザイン報告会が開催され、隈研吾氏による南三陸町の市街地デザイン計画が公開されました。

- 市街地の全体…飛騨を持った町並みにし、全体的になめらかな町を形成していきます。また、海とともに生きてきた当町ならではの海と一体感を感じられる町づくりを展開していきます。そのため大通りは海に向かって自然が通る形の配置にしました。
- 大きく7つに分かれるエリア…水産エリア・沿道商業エリア・体験観光エリア・教育文化エリア・観光交流エリア・復興記念公園エリア・自然公園エリア



- 【主な内容】
- 沿道商業エリアと観光交流エリア…海に抜ける南北の道を潮騒通り(仮)と名付ける。潮騒通りの賑わいを軸にし、観光客の足休めの場やイベントスペースをもうける。
 - 観光交流エリア…さんさん商店街のような平屋の観光商店街や海の広場を設置する。
 - 沿岸商業エリア…漁村らしい余地空間を介した懐かしい町並みを形成する。
 - 体験観光エリアと水産エリアの連携…機能的な水産業だけでなく、観光客が見学をしたり作業体験をしたりできる空間にしていく。
 - 教育文化エリア…上の山から連続する文化の中心地になるように形成する。小学校や・保育所等がネットワーク化されて未来の物語が具体的に集まる場所にする。震災資料館などの文化施設を配置する。
 - 自然公園エリア…震災時の様子のある程度残し、震災の記憶を継承した様な空間を形成する。復元する志津川の自然を観察できるような空間にしたい。
 - 河川沿いの親水空間…満水位のプラス1メートルの高さまで緑化を行い、親しみやすい空間にする。また、河の水面まで降りられるような幅の広い階段を創る。かがり火まつりや灯籠流し等が継承される空間でなければならない。
 - 町内循環バスと自動車…循環バスは各エリアをつなぐネットワーク的な役割をする。駐車スペースは、大規模な駐車場を設けるほかに道ばたに駐車可能な空間をつくり、利用者の利便性を図る。
 - 防潮堤…きもちのいい歩行者空間。体験観光エリアに人を引き込む重要な導線に防潮堤自身になる。

川中美幸さん南三陸町へ

5月21日(水)、歌手の川中美幸さんが「きらり!えん旅」という番組収録のため、当町を訪れ、ミニ・コンサートを開いてくれました。約1時間という短い時間でしたが、来場した町民と丁寧に握手を交わし、素敵な歌声を届けてくれました。川中美幸さんの「きらり!えん旅」は7月3日(木)午後7時30分からBSプレミアムで放送されますので、ぜひ皆さんお楽しみに!!



春季消防演習

6月1日(日)、志津川小学校校庭で春季消防演習が行われました。晴天に恵まれた当日は、午前9時30分の開始のサイレンとともに命の危険を顧みず職務を遂行し犠牲となった消防団員や消防職員、そして町民に対し、全員で黙とうを捧げました。そのあと、通常点検が実施され、住民の生命を守るための重要な役割を担う消防団として、気持ちを新たにしました。

南三陸町消防団

平成26年4月1日現在
団員数 521名(定員630名)
分団数 12分団
班数 55班

4号トンネルの 工事現場見学会

6月5日(木)、伊里前小学校と名足小学校の児童が南三陸道路4号トンネルを見学しました。トンネルのしくみを勉強したり、トンネル内で活躍する機械たちが実際に動いているところを見たり、トンネルから発見された約1億5000万年前の粘板岩や約1億年前のひん岩を触ったりしました。工事に携わる人たちしか入ることのない場所での授業に児童たちは興味津々の様子でした。また、6月7日(土)には、住民を対象にした見学会も行われました。

